

《短報》

近年目撃されたホタル合戦2例

川野敬介

豊田ホタルの里ミュージアム, 〒750-0441 山口県下関市豊田町大字中村 50-3

はじめに

ホタル合戦とは、ゲンジボタルが集団で飛翔して、空中で塊となるという非常に壮大な現象である(例えば、神田, 1935; 南, 1961; 大場, 1988)。この現象は、ゲンジボタルが非常に多く発生した時に現われ、かつては全国各地で目撃されたようであるが、近年の目撃例は非常に少ない。

本稿では、この壮大で非常に稀な現象であるホタル合戦を、山口県と鹿児島県で近年目撃された方から状況をご教示頂く機会を得たので、その状況と目撃された環境を可能な限り詳細に記述する。

ホタル合戦の目撃内容

1) 山口県での目撃例

場 所 : 山口県下関市豊田町江良 (江良川)

時 期 : 2006年6月9日, もしくは2007年6月8日

目撃者 : 岩本博信氏・岩本まり子氏 (岩本まり子氏より2011年9月にヒアリング)

内 容 : 目撃時期については、4・5年前のホタル祭りの前夜と記憶されていたが、豊田町のホタル祭りは6月の上旬に2週に分けて開催される。2006年のホタル祭りは6月3日と10日で、2007年は6月9日と16日に開催されている。ホタル合戦が目撃されるのはホタルの個体数が多いときと記載されているので(南, 1961), 川野 (2009) を考慮して江良川での個体数の多い時期を判断すると2006年だと6月9日, 2007年だと6月8日と考えることができる。

その日、岩本夫妻は華山(徳仙の滝)を観光した後、自動車で岐路につく途中、江良川の畔に停車してホタルを鑑賞したとのことである。そして、そこでホタル合戦と思われる現象を目撃されている。目撃された場所は、車を停車したところに消火栓の看板があったと記憶されているので、標高約40m (34°10'39.3"N, 131°3'36.3"E)の位置と考えられる。この位置の江良川は、幅が約5m、河床は改変されていないが、護岸はコンクリートブロックで覆われている(図1)。目撃された時間は20時30分から21時の間と記憶されている。ちなみに、この時間帯の豊田町の気温や風速は、2006年の場合18.0°C~16.0°C、風速は0~1m/sで、2007年の場合は20.5°C~20.3°C、風速は1~2m/sであった(気象庁の気象統計情報より引用)。体感気温としては暑かったと記憶されているので、2006年よりは2007年に目撃された可能性が高いと考えられる。



図1 ホタル合戦が目撃された地点の江良川

ホタル合戦自体は、「数百のホタルが塊となってゆっくりと上昇して、山の方に登っていった。その様子は「天の川」のようであった。」と観察された印象を述べられた。ただ、上昇した後、その塊がどうなった

のかについてまでは観察されていない。“天の川”と表現されていたので、塊というよりは帯状であったのかもしれない。

## 2) 鹿児島県での目撃例

場 所：鹿児島県霧島市牧園町堂山

時 期：2009年5月20日

目撃者：前田博志氏，他にホタル会の会員4名（前田博志氏より2011年10月にヒアリング）

内 容：ホタル合戦は、2009年5月20日19時50分頃から5～6分間観察された。その間のその地点の気温は20℃～21℃と計測、記録されている。月齢は25で、観察した時間ではまだ月は出ていなく、暗く、前日から当日午前中までの降雨の影響で湿度が高く、蒸し暑かつたらしい。場所は、牧園町堂山のゲンジボタル生息地で、標高は約140m（31°52′26″N，130°44′14.4″E），河川幅約3mの小河川脇のスギ林であった（図2）。

ホタル合戦は次のように観察された。数百のゲンジボタルが直径約30cmのほぼ球形の塊となって、地面から2～3mの高さのところを光りながらゆっくりと飛び回っていた。飛び回っていたのは、スギの大木のやや暗くなった場所であった。その現象は19時50分頃から5～6分継続されたという。塊の中でのゲンジボタルは回転したり、個体同士が衝突したりすることなく、光りながらゆっくりとその塊の中で各個体が位置を変えることなく飛んでいたと観察されている。なお、その塊は最終的にスギの木を上昇した後、弾けるように散り、“八の字”に落下したと観察されている。



図2 ホタル合戦が目撃された牧園町堂山

## まとめ

ホタル合戦は、近年ほとんど観察されていない非常に特殊な現象である。この現象は、その役割や機能についてまったくわかっておらず、さらにゲンジボタル以外のホタルでは観察・報告されたことはない。この現象はゲンジボタルの極めて特異的な行動と考えられる。今後、この現象についての情報を収集するとともに、実際に観察したいと望む。

## 謝 辞

ホタル合戦の観察状況を懇切丁寧にご教示頂き、さらに本稿への掲載を許可頂いた下関市在住の岩本博信氏・岩本まり子氏、霧島市在住の前田博志氏に心から御礼申し上げる。

## 引用文献

神田左京（1935）「復刻 ホタル」：261-269. サイエントリスト社，東京。

川野敬介（2009）下関市豊田町の20年間のゲンジボタル発生記録～ホタル情報員の調査結果（1989年～2008年）～. 豊田ホタルの里ミュージアム研究報告書，(2)：9-18.

南 喜一郎（1961）「復刻 ホタルの研究」321p. サイエントリスト社，東京。

大場信義（1988）「日本の昆虫⑩ ゲンジボタル」：93-97. 文一総合出版，東京。